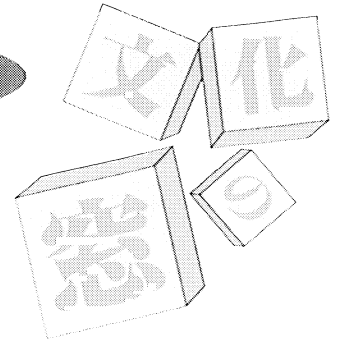


ムーミンと白夜の国の子どもたち



北欧の絵本三人展

ヤンソン | アーデルボリ | ドーレア夫妻

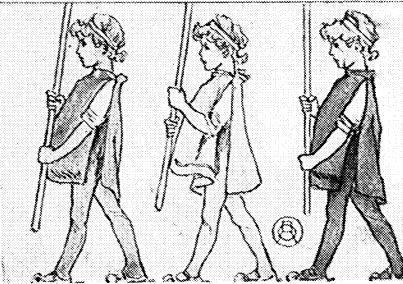
12月5日(日) 14:00～ | 1月13日(日)



トーベ・ヤンソン
「ムーミン谷の夏まつり」1954年



PRINSARNES
BLOMSTERALFABET



オットィリア・アーデルボリ
「ABC王子たちの花文字」1893年(再版)



by Ingri & Edgar Parin d'Aulaire

ドーレア夫妻「オーラのたび」1932年

透明な光と大気に包まれ、神話と伝説に満ちた北欧の国々は、数多くの優れた童話や絵本を生み出しています。この展覧会では、トーベ・ヤンソン、オットィリア・アーデルボリ、ドーレア夫妻という、北欧を代表する絵本作家たちをご紹介します。

フィンランドのトーベ・ヤンソン(1914～)は『ムーミン』の作者として有名です。ムーミントロールをはじめとするユニークなキャラクターたちが活躍するムーミン童話では、子供の夢や冒険、成長の過程が生き生きと表され、世界中で親しまれています。

スウェーデンのオットィリア・アーデルボリ(1855～1936)は『ABC王子たちの花文字』(1892年)など数々の作品の中で、愛らしい子供たちや野の草花を、女性らしい繊細な筆使いと透明感のある色彩で描き出し、人気を博しました。

アメリカで活躍したエドガー(1898～1986)とイングリ(1904～1980)のドーレア夫妻は、イングリの故郷ノルウェーの大自然を舞台に繰り広げられる、子供たちの暮らしと冒険を、大胆な構図と柔らかな描線の中に表しました。『オーラのたび』(1932年)はその代表的な作品です。

この展覧会では、彼らの絵本原画やスケッチ、初版本など、200点あまりの作品を一堂に展示いたします。彼らの作品の中に息づいている、北欧の自然と暮らし、そして、その中ではぐくまれた夢と幻想の世界をお楽しみください。

会場 ○ 福島県立美術館

休館日 ○ 毎週月曜日、12/24水、12/28日～1/5月

観覧料 ○ 一般・大学生 = 730(570)円 / 高校生 = 520(420)円

小・中学生 = 360(260)円 ()内は20名以上の団体料金

ギャラリートーク ○ ①12/12金 14:00～ ②1/10土 11:00～

問い合わせ先: 福島県立美術館 企画課 電話: 0246-220000



トーベ・ヤンソン「ムーミン谷の夏まつり」1954年